

様式第2号（政務活動実施報告書）

令和8年2月26日

井原市議会議長

山下 憲雄 様

井原市議会議員 西村 慎次郎

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	令和8年2月16日（月） 10:00～16:00
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	○人口減少時代を突破する！ データと実践で切り拓く地方議会の未来 in 東京 ・政策づくりのためのデータ収集・分析の視点 ・人口維持・増加を目指す実践事例
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師；牧瀬 稔 氏 （関東学院大学法学部准教授）
5. 活動内容	別紙①のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



【研修概要】

◆政策づくりのためのデータ収集・分析の視点 (2月16日 10:00~12:30)

1. PDCAサイクルの落とし罠

PDCAサイクルを意識して事業(政策・施策)に取り組めば、間違いなく成果はあがる。しかし、これは「『P(Plan)』があっている」という前提である。

自治体の政策づくりの現場に行くと、そもそも「間違っている『P』」が多い。

2. データ収集の視点

Webには、活用できる情報が無数にある。Webを効果的に使うことが重要。

政策づくりにおける統計データや情報の活用は「欲しい時にストレスなく入手する」ことが大事である。

3. データ分析の視点

グラフを使って分析する場合、同じデータでも縦軸のメモリの幅を変えることで、異なった印象を与える。

政策づくりは、一つのグラフだけで判断せず、多様なデータを確認して総合的に判断することが大事である。

4. データ収集・活用事例

○転入増加に向けた事例

●T市

人口を獲得するために「奪う地域」を明確にしてプロモーションをしている。

●N市

人口を獲得するために「奪う対象」を明確にしてプロモーションしている。

○観光客増加に向けた事例

- ・観光客の実態を把握するため、データ探しから開始。
- ・旅館、ホテルに宿泊すると、住所や氏名を記帳するので、このデータに注目。
- ・ターゲット地域の候補を抽出・選定し、世帯人員数、世帯年収などのデータを参考に、最終的なターゲット地域を決定。
- ・ターゲット地域に観光プロモーションをかけることにより、観光客は3年間で2.6倍まで増加。

【所感】

政策づくりのために、効率よく統計データを収集し、間違いなく分析していくことが大事である。今回は統計データの基本的な収集と分析の視点を学んだ。正しく統計データを把握しないと、正しい政策づくりはできない。EBPMを意識して政策づくりされているかしっかりとチェックしていきたい。

◆人口維持・増加を目指す実践事例（2月16日13:30～16:00）

1. 地方創生の振り返り

- ・「人口減少の克服」と「地域経済の活性化」が目的であった。
- ・「地域経済の活性化」は目標達成に向けて進捗していると評価しているが、「人口減少の克服」は効果が出ているまでに至っていないと評価している。

2. 日本の将来人口推計

- ・2008年から人口は減少し続けている。
- ・2050年には人口が1億人を割り込み、2060年には約8600万人となり、2100年には約4500万人に減るといふ人口推計がある。
- ・現在の人口減少率が将来も続くという仮定で推計すると、2144年には日本の人口がゼロになると予測されている。

3. 人口維持・増加の事例

- ・人口減少に対処するキーワードは「住民の創造」である。
- ・自然増を達成するには、①出生数の増加、②死亡数の減少が基本となる。2024年の日本の合計特殊出生率は、1.15となっており、自然増には限界がある。
- ・社会増を達成するには、①既存住民（自分の自治体に住む住民）を対象に転出を抑制する、②潜在住民（自分の自治体外に住む住民）を対象に転入を促進するのが基本となる。事例としては、人口を獲得するために「奪う地域（どこの市町からの転入を増やすか）」や「奪う対象（どういう年齢層・家族構成・年収の人の転入を増やすか）」を明確にして地方創生をしている。

4. 教育は人口の牽引力はあるか？

- ・子育て世代に対するアンケート調査では、「学力向上に向けた教育支援」は居住選択の上位になる。「子どもの基礎学力保障条例」を制定している自治体もある。
- ・学力と定住人口に相関は見られる。

5. おわりに

- ・地方創生とは、地方自治体が従前と違う初めてのことを実施していく、あるいは他自治体と違う初めてのことに取り組んでいくこと。

【所感】

人口維持・増加の実践事例について学んだ。メインターゲットをどこに置くかを明確にして人口維持・増加施策を行うべきとのことでした。

自然増に対する施策には限界があり、社会増に対する施策が必要と感じた。さらにメインターゲットを明確にした施策が必要と感じた。

また、居住選択の理由として「教育」があるとのことでした。メインターゲットをどこにおくかで、教育施策も重要となる。成功事例をしっかりと分析してみたい。

以上